



2021年度 第5回例会(Webinar) 「英語論文執筆の実際」

2026年開催予定のICA2026東京大会を見据え、英語論文の執筆方法のレクチャーを行います。「英語での論文執筆や発表に関心はあるが自信がない・何から始めてよいかわからない」という方も奮ってご参加ください。

※ICAとはInternational Congress of Actuariesの頭文字をとったもので、世界各国のアクチュアリー学および実務に携わる専門家が一堂に会し、研究論文の発表、各国でのトピックの共有・意見交換等を通じて世界のアクチュアリー学および実務のさらなる発展に寄与しているイベントです。2026年11月に東京で開催される予定です。

講演内容詳細

リサーチクエストの立て方から実際の執筆まで、英語論文を書くための方法を説明します。

内容(予定)

- ・リサーチクエストの立て方…調査や研究を行う上で、事前にリサーチクエストを立てておくことが重要です。よいリサーチクエストとはどのようなものであるか説明します。
- ・論文の構成の考え方…調査や研究の後、いきなり論文を書こうと思っても書けません。書き始める前に研究の内容を整理し、構成を固めておくことが肝になります。そのポイントを説明します。
- ・アウトラインの作成方法…構成を決めた後、論文化の前にアウトラインを作成することをお勧めします(日本語で論文化して英訳することはお勧めしません)。論文の準備の最終段階として、どのような内容が必要であるかを説明します。
- ・英語論文の特徴と書き方のコツ…英語で論文を作成する際のパラグラフの構成や好ましい英文の書き方など、論文執筆における英文の書き方のポイントを説明します。

◆日時 : 2021年10月1日(金) 18:00 ~ 19:30

※例会のWebinar化に伴いまして、当日参加が難しい方のために、録画動画の再放送を実施します。再放送を視聴の場合も当日参加と同様に出席と見做して公式CPD単位を取得可能ですので、当日の参加が難しい方は是非ご活用ください。再放送の日程は次の通りです。

【 10月15日(金) 18:00 ~ 19:30 】

再放送の参加方法等は前日14日(木)の正午までに改めてご案内いたします。

◆会場 : ZoomによるWebinar開催(定員 先着500名)

◆講師 : ミリマン・インク コンサルタント 武島 智美 氏

◆参加登録 : 別紙をご参照ください。定員に空きがあれば、開催時刻まで登録は可能です。

※登録の際にご入力いただく氏名・会員番号・生年月日は、例会当日のCPD単位のための出席確認に利用します(単位集計をより正確・簡易に行う目的で、生年月日のご入力をお願いしております)。お間違えのないよう、正確にご入力をお願いいたします。

◆講演資料 : 当会会員ホームページからダウンロードしてください(9月17日(金)頃掲載予定)。

◆質疑応答 : QA・アンケートツールである「Slido」を使用します(詳細は別紙をご確認ください)。パソコンでライブ配信を視聴し、スマートフォンでSlidoを使用することをお勧めします。なお、「Zoom」のQ&Aにご入力いただいた質問も、例会事務局にて「Slido」へ転記します。

講師プロフィール

武島 智美 氏

2015年にミリマン・インクに入社し、主に論文執筆、学術雑誌への投稿マネジメントを担当。リアルワールドデータを用いたアウトカムリサーチや医療経済評価などを中心に、様々な疾患領域の研究、論文執筆・投稿に携わっている。パブリケーションマネージャーの認定資格であるCertified Medical Publication Professional (CMPP™)を保有。

ミリマン入社前は、企業にてバイオ素材、ナノ素材の研究開発や、テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンター(米国)で代謝調節機構の研究に従事。

奈良女子大学家政学部食物学科卒業、北海道大学大学院環境科学院博士課程修了。博士(環境科学)